10人の議員が一般質問

【問】の記事は質問した議員が作成しています。

増える鳥獣被害 積極的な対策を

その他の質問
○浪切ホールの運営
○生活保護制度の実態と問題点

村野　精 議員

【問】近年、アライグマやカラスなど有害鳥獣による農作物被害が増加しているが、被害状況とその対策について聞きたい。

【答】水稲や野菜、果物などの被害は、平成21年度で農家約200軒、面積約150ha、金額約2千万円となっている。

猟友会と連携をより密にして捕獲に努めていく。また、猟友会員が減っており、農家自身の狩猟免許の取得の働きかけや、イノシシなどが人里へ迷い込まないよう荒廃した遊休地を減らすなど総合的な防止対策を図っていく。

【問】イノシシなどは、エサの確保のため、民家近くにも現れ、人に危害を加える可能性がある。農作物被害のみならず、生活環境に大きな影響を与える可能性があり、積極的な対策を講じる必要があると考えるがどうか。

【答】本市では、国道170号より海側でイノシシの出没が確認されており、人的被害をはじめ、生活環境被害が十分に考えられる。

早急に農業団体、猟友会などとの対策会議を持ちたい。また緊急事態が発生した場合の対策として、連絡網の整備とマニュアルの作成を府、警察などと協議しながら進めている。

人里に現れたイノシシ

ICTは活用次第で 成果に大きな違いが

その他の質問
○災害対応力の向上

西村　芳徳 議員

【問】平成22年度、小・中学校に電子黒板や教職員用パソコン、校内LANが整備された。これらのハードは使う側の熟達度、活用の方法で成果に大きな違いがでる。どのように平準化を図るか聞きたい。

【答】教職員のICT活用能力の向上のため、継続して説明会や研修会を実施している。子どもたちに分かりやすく指導するため、効果的な学習ツールを市科学技術センターで集約し、各学校への発信に努めている。

【問】学習環境改善の一つとして、普通教室へのエアコン整備が急がれる。特に近年、9月に入ってからの猛暑が長期化している。昨年の夏も連日35℃を超え、最高で40℃を記録し、とても授業を行える状況にない。早急に委員会を立ち上げ、エアコン整備を具体化すべきと思うがどうか。

【答】多額の初期・維持費用が必要であり、専門家の意見を聞きながら、効率的で実現可能な計画を立てなければならないと考える。

まず、学校の耐震事業の進ちょく状況を踏まえる必要がある。そのうえで、市の財政負担を減らすため、国の補助制度を活用するなどの方法を模索し、段階的に学校現場などの意見集約に努めていく。

教職員を対象とした研修会

労働者を守る 公契約条例の制定は

その他の質問
○岸城夜間中学と産高定時制生徒への給食復活と岸城夜間中学の就学奨励制度

中井　良介 議員

【問】国や自治体が発注する建設工事は、不況のもとで低価格競争が激化し、下請け企業や人件費が犠牲になっている。経営者と現場労働者から、市内業者への優先発注や適正な発注価格、賃金改善の要望があるが、本市の対策を聞きたい。

【答】本市の工事は、市内の業者を優先して発注している。また、市内の中小企業の受注促進のため、分離・分割発注の可否などにも留意し、進めていく。

発注価格は、ダンピング受注などを防止するため、入札時に最低制限価格を設け、適正な価格での契約に努めている。

賃金は、下請及び従業員に不払いがないよう、受注業者から誓約書や、下請業者との契約書の写しを提出させるなど配慮している。

【問】他市では、発注する事業に従事する労働者に適正賃金・労働条件を確保するよう契約に明記することを義務付ける条約の批准に先駆け、公契約条例を作る動きがある。本市役所内でも低賃金で働いている労働者がおり、条例の制定を検討してはどうか。

【答】国は条約を批准しておらず、また、公契約法の制定にも至っていない。今後も国や他市の動向に留意していきたい。

住みよいまちづくりで 人口もアップ

京西　且哲 議員

【問】天神山校区の人口減少率が、市内の小学校24校区のなかで最も高く、児童数も平成元年のピーク時点と比較して70%も少なくなっている。

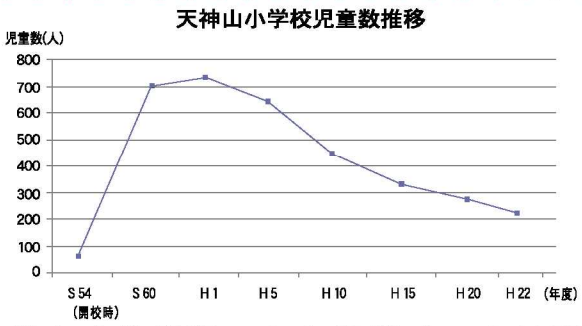
天神山地区は、全戸数の67%が府営住宅などの公的住宅で、建設から30年以上が経過し、老朽化が進み、空き家募集を実施しても定員割れとなり「通年受付」の対象になりつつある。

人口の流出を防ぐまちづくり対策として、空き家の利活用や凍結中の泉州山手線の広大な用地の有効活用など、長期的な戦略が必要と考えるがどうか。

【答】今後のまちづくりの課題としては、府営住宅の家賃の値下げ、老朽化した住宅の改善、高齢者をはじめあらゆる人が交流できるよう空き家を利活用するなどがあり、事業主体である府と協議していきたい。

また、府が保有している泉州山手線の未活用の用地は、府に対し道路整備を進めるよう要望しているため、急な変更は難しいと考える。

このほか、市として生活を支えるための施策は、総合的に進める課題であり、市のトップで構成する政策推進戦略会議の専門委員会を立ち上げ、進めていきたい。



見逃さないで 子どもたちのSOS

澤　榮一 議員

【問】全国各地でいじめが原因で自殺する小・中学生が増えている。その背景に学級崩壊という問題も浮き彫りになっている。

子どもたちの未来を守るため、本市の小・中学校におけるいじめの実態について、また子どもたちの発するSOSにどのように反応し、いじめとどのように向き合っているか聞きたい。

【答】いじめには、冷やかしや暴力、仲間はずれなどがある。平成22年度は、11月現在で小・中学校あわせて14件把握しているが、いずれも解消に向かっている。

学校では、日記指導や教育相談などで日ごろから子どもの学校生活の状況を把握している。いじめを発見すれば、校内に設置している対策委員会で実態把握と対応を協議し、組織で早期解決に努めている。

【問】学級崩壊の実態と対策について聞きたい。

【答】現在、小学校で3学級発生している。教師自身の指導力や一人で問題を抱えてしまう組織に原因があると考えられることから、複数教師による協力指導や少人数指導を行うなど、改善に努めている。また、教育委員会から指導主事やサポートチームを派遣するなど、学校を支援している。

福祉総合センターでの教育相談

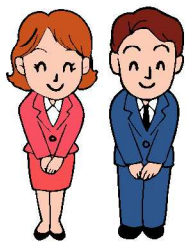
議会録画中継をご覧ください

インターネットで一般質問や総括質問の様子を配信しています。ぜひご利用ください。

議会基本条例パブリックコメント

ご協力ありがとうございました

10月16日から11月15日までの間、パブリックコメントを実施したところ、みなさんから貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

ご意見の概要と市議会の考え方を議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

この後、2月23日から開く第1回定例会で議案として提出し、5月に施行の予定です。